



国際的に活躍する日系アーティスト、  
信仰と創作のルーツをたどる思索の集大成

# 沈黙と美

遠藤周作  
・トラウマ  
・踏絵文化

マコト・フジムラ 四六判上製 320 頁 予価：本体 2800 円＋税  
ISBN978-4-7949-6954-5 C0070 篠儀直子 訳

日米ふたつの文化的背景を生きるアイデンティティ、  
家族と暮らすNYでの9・11体験、長崎グラウンド・ゼロへの巡礼、  
クリスチャンでありアーティストであるということ——  
自身のたどった歩みを、遠藤周作の信仰と創作の歩みに  
オーバーラップさせる。

隠れキリシタンの歴史を探り、踏絵のトラウマが生んだ  
日本独自の美術、文化、風土へ深い洞察力をもって挑む日本論。

●2016年5月にアメリカで刊行された原著は多くの読者から絶賛！  
「私たちの断片化した世界の神の贖いの美しさを反映した驚くべき作品」  
「商品レビューを投稿することはほとんどありませんが、この本は私の心からのお勧めです」  
「小説とその作家の文脈をより深く理解したい人は、これを必ずお勧めします」



M・スコセッシ監督『沈黙—サイレンス—』(2017年1月公開)で新たに  
注目される遠藤周作の傑作に新しい角度から光をあてる一冊



【著者について】マコト・フジムラ  
1960年、ボストン生まれの日系アメリカ人。画家、ヴィジュアル・  
アーティスト。1985年から1992年まで、文部省国際奨学生と  
して東京藝術大学大学院博士課程に在籍。稗田一穂、加山又造ら  
に日本画を学ぶ。2003年ホワイトハウス文化担当顧問に  
日系人として初めて任命される(2009年まで在任)。2015  
年よりロサンゼルスにあるフラー神学校の文化施設プレム・セ  
ンターのセンター長に就任。ベルヘブン大学(2011年)、バイ  
オラ大学(2012年)、ロアノークカレッジ(2015年)より、芸  
術名誉博士号が与えられた。ニューヨーク在住。

## 目次

- 1 『沈黙』への旅——粉碎
- 2 美の文化——『沈黙』の文化的コンテクスト
- 3 曖昧さと信仰——曖昧な日本のわたし
- 4 グラウンド・ゼロ
- 5 踏絵文化
- 6 「隠れ」の信仰が暴かれるとき
- 7 ロドリゴ司祭の贖罪
- 8 トラウマの癒しに向けて
- 9 海をわたる使命

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 12月26日

新刊委託申込書	取次・貴店印	<h1>沈黙と美</h1> <p>マコト・フジムラ 著</p> <p>【芸術・日本文化論】四六判・320ページ 予価：本体2800円＋税 ISBN978-4-7949-6954-5 C0070 1月31日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940</p>	申込部数
	ご担当 様		冊